

|             |       |           |
|-------------|-------|-----------|
| 福祉科「社会福祉基礎」 | 単位数   | 2単位       |
|             | 学科・学年 | 介護福祉科（1年） |

(1) 学習のねらい（目標）および使用教材

|              |  |
|--------------|--|
| 学習到達目標       | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 社会福祉に関する基礎的な知識を技術を習得し、社会構造の変容やライフスタイルの変化が社会福祉の進展にどのような影響を及ぼしているか考える力を身に付ける。</li> <li>○ 現代社会における社会福祉の意義や役割などについて理解し、社会福祉の基本的な見方や考える力を身に付ける。</li> <li>○ 対人援助のあり方や社会福祉制度の基礎的な理解のもと、社会福祉に関する諸課題を主体的に解決し、社会福祉の向上を図る能力と態度を身に付ける。</li> </ul> |
| 使用教科書<br>副教材 | 「社会福祉基礎」（実教出版）・<br>最新介護福祉士養成講座1「人間の理解」（中央法規）   |

(2) 評価の観点および評価方法

|       |  |
|-------|--|
| 評価の観点 | <p><b>関心・意欲・態度</b><br/>社会福祉について関心を持ち、社会福祉の意義や役割を適切に理解したか。</p> <p><b>思考・判断・表現</b><br/>社会福祉の課題等について考えることができたか。</p> <p><b>技能</b><br/>社会福祉に関する資料や情報を適切に選択して、活用できている。</p> <p><b>知識・理解</b><br/>社会福祉に関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。</p> |
| 評価方法  | 学習活動状況（出席・意欲・態度等）、学習プリント・レポートの提出状況、定期試験の結果等総合的に判断して評価する。   |

(3) 授業の受け方および学習方法

|                   |  |
|-------------------|--|
| 授業の受け方<br>および学習方法 | 必要事項をノートやプリントに書き込む。積極的に演習に参加し、学んだことを記録し提出する。 |
|-------------------|--|

(4) 学習計画

「1学期」

| 項 目  | 学 習 の ね ら い   |
|--|---|
| 第1編<br>社会福祉の理念と<br>意義<br>・第1章<br>生活と福祉<br><br>・第2章<br>社会福祉の理念<br><br>・第3章<br>人間の尊厳と<br>福祉社会の創造 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 進行する少子高齢化と人口減少の中で社会福祉が担う役割を考察する。</li> <li>・ 地域社会の変化について理解し、今後の地域社会のあり方を考察する。</li> <li>・ 時代の変化に伴うライフサイクルの変化、多様化について理解し、ライフステージにおける社会福祉施策との関わりを考察する。</li> <li>・ 社会福祉の理念「ノーマライゼーション」を地域社会でどのように活用していくかを考察する。</li> <li>・ 「人間の尊厳」という価値を理解し、福祉サービス利用者に対する自立支援のあり方を考察する。</li> </ul> |

「2 学期」

| 項 目  | 学 習 の ね ら い   |
|--|---|
| 第 2 編<br>・ 第 1 章<br>諸外国における<br>社会福祉<br><br>・ 第 2 章<br>日本における<br>社会福祉<br><br>第 4 編<br>・ 第 1 章<br>コミュニケーションの基礎<br>・ 第 2 章<br>援助における<br>人間関係の形成<br>・ 第 3 章<br>社会福祉援助活動<br>の概要 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 諸外国（イギリス、アメリカ、スウェーデン、デンマーク、ドイツ、フランス）の社会福祉の歴史や意義を考察し、それらが我が国に与えた影響を理解する。</li> <li>・ 政府による救済制度や近代社会福祉における先駆者たちの取り組みを理解するとともに、それぞれが担った意義を理解する。</li> <li>・ 21 世紀に向けた保健福祉政策について理解し、社会福祉法の成立によって今後どのような社会福祉制度利用のあり方が目指されたのかを知る。</li> <li>・ コミュニケーションの種類や活用方法を理解する。</li> <li>・ 信頼関係の構築のために、援助者と被援助者との間にコミュニケーションが必要であることを理解する。</li> <li>・ 受容・共感・傾聴の意味や特性を理解し、それを使用した利用者理解の重要性を学ぶ。</li> <li>・ 自己理解と他者理解の重要性や方法を理解する。</li> <li>・ 個別援助技術・集団援助技術・地域援助技術それぞれの特性や展開過程を理解する。</li> <li>・ 社会福祉援助活動の目標を達成するためのチームづくりの必要性を理解する。</li> </ul> |

「3 学期」

| 項 目  | 学 習 の ね ら い  |
|--|--|
| 第 3 編<br>生活を支える<br>社会福祉<br><br>・ 第 1 章<br>社会福祉・社会保<br>障制度の意義と役割<br><br>・ 第 2 章<br>子どもの家庭福祉 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会保障制度の意義、役割、範囲を理解するとともに、時代の変化に伴い、地域社会の中で求められる社会福祉のあり方について考察する。</li> <li>・ 社会福祉を推進する我が国の行政体制に関して理解するとともに、それらの機関が国民生活や地域社会にどのように関わっているかを考察する。</li> <li>・ 児童福祉政策の基軸である児童福祉法について理解するとともに、今後の子育て支援のあり方を考察する。</li> <li>・ 児童福祉政策の基軸である児童福祉法について理解するとともに、今後の子育て支援のあり方を考察する。</li> </ul> |

|             |       |           |
|-------------|-------|-----------|
| 福祉科「社会福祉基礎」 | 単位数   | 2単位       |
|             | 学科・学年 | 教養福祉科（2年） |

(1) 学習のねらい（目標）および使用教材

|              |   |
|--------------|---|
| 学習到達目標       | 家族あるいは地域社会が、個人とどのようにつながっているのか、私たちが参加する組織や集団とのかかわりを考える。現代社会における社会保障の位置づけと今後の課題を知る。また、高齢者や障害者が、自分らしい生活をおくるために必要なさまざまな諸制度をしっかりと理解し、活用できるようにする。 |
| 使用教科書<br>副教材 | 「社会福祉基礎」（実教出版）<br>最新介護福祉士養成講座2「社会の理解」（中央法規）   |

(2) 評価の観点および評価方法

|       |  |
|-------|--|
| 評価の観点 | <b>関心・意欲・態度</b><br>社会保障のしくみに関心を持ち、今後の課題について意欲的に調査研究している。<br><b>思考・判断・表現</b><br>社会福祉が抱える課題等について考えることができる。<br><b>技能</b><br>諸制度の活用について、資料などを活用し、適切な支援ができる。<br><b>知識・理解</b><br>社会保障しくみや様々な諸制度に関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。 |
| 評価方法  | 学習活動状況（出席・意欲・態度等）、ノートの記入状況・レポートの提出状況、定期試験の結果等総合的に判断して評価する。   |

(3) 授業の受け方および学習方法

|                   |   |
|-------------------|---|
| 授業の受け方<br>および学習方法 | ノートを準備し、必要事項をノートに書き込む。レポートや課題プリント等は、しっかり取り組み、提出期限を守ること。 |
|-------------------|---|

(4) 学習計画

「1学期」

| 項目                     | 学習のねらい   |
|------------------------|--|
| 第1章<br>私たちの生活<br>と社会福祉 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・家族、地域、社会について理解し、福祉とどのように関わりがあるのか考える。</li> <li>・社会構造の変化およびライフスタイルの多様化について理解する。</li> <li>・社会福祉の基本的な理念や役割について、地域福祉の視点から学ぶ。</li> </ul> |
| 第2章<br>社会保障のしくみ        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会保障の基本的な考え方を理解するとともに、社会保障制度の歴史と変遷を学ぶ。</li> <li>・現代社会の社会保障制度のしくみを理解する。</li> </ul>  |

「2学期」

| 項目                      | 学習のねらい  |
|-------------------------|---|
| 第3章<br>介護保険制度           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険制度の創設背景と目的について理解する。</li> <li>・介護保険制度のしくみを学び、国や自治体、各種の機関が果たす役割について考える。</li> <li>・介護保険制度下での専門職の役割について学ぶ。</li> </ul> |
| 第4章<br>障害者の支援を<br>担う法制度 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者自立支援制度の成り立ちと、その目的や特徴を理解する。</li> <li>・障害者自立支援制度のしくみを学ぶとともに、制度に係る組織や団体の機能と役割を理解する。</li> </ul>                        |

「3学期」

| 項 目                     | 学 習 の ね ら い  |
|-------------------------|--|
| 第5章<br>介護実践に<br>かかわる諸制度 | <ul style="list-style-type: none"><li>・人々の権利を擁護する諸制度を学ぶ。</li><li>・高齢者・障害者が利用する保健・医療サービス及び施設・制度について学ぶ。</li><li>・社会福祉法における権利擁護のしくみを学ぶ。</li><li>・生活保護、年金、医療保険に関する制度を理解する。</li></ul> |